

---

## 「血液培養ボトル供給不足による

### 感染症診療への影響についての研究」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2024年10月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターで外来受診または入院診療を受けていた患者さんで、感染症が疑われ、血液培養検査が実施された患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

血液培養ボトルが供給不足であった期間（2024年7月1日から2024年10月31日ころ）における血液培養の実施状況や陽性率、感染フォーカス、臨床転機、使用抗菌薬、検出微生物などについて、血液培養ボトルの供給が十分であった期間と比較し解析することによって、血液培養ボトルの供給不足下に実施された対応について検討することを目的とします。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年12月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である小野 大輔が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

##### 2. 試料・情報の取得方法

感染症が疑われ、血液培養検査が実施された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

##### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科（研究責任者：小野 大輔）

#### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

#### お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科 小野 大輔

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3923（直通）（月・火・水・金 9時～17時）

○研究課題名：血液培養ボトル供給不足による感染症診療への影響についての研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科 小野 大輔